

「2024年6月短観（茨城県）」の解説

【判断 D.I.】

- 業況判断 D.I.は、非製造業が改善した一方、製造業が悪化したことから、全産業では「良い」超幅が縮小しました。
- 先行き2024年9月までの予測では、製造業が改善する一方、非製造業が悪化することから、全産業では「良い」超で横ばいと見込まれています。

【事業計画】

- 2023年度の事業計画の実績をみると、業績は、前年度対比「増収・減益」となりました。設備投資は、前年度を下回りました。
- 2024年度の事業計画をみると、業績は、前年度対比「増収・増益」となる計画です。設備投資は、前年度を上回る計画となっています。

【新卒採用】

- 企業の新卒採用計画は、2024年度、2025年度ともに前年度を上回る計画となっています。

I. 判断 D.I.

1. 業況判断

- 企業の業況判断 D.I.は、非製造業（前回15→今回18）が改善した一方、製造業（同12→同0）が悪化したことから、全産業（同14→同9）では悪化した（悪化は4期振り）。

—— 全国の動き（全国短観）をみると、製造業（前回4→今回5）、非製造業（同18→同19）ともにやや改善し、全産業（同12→同12）では横ばいとなった。

- ◇ 県内の業種ごとの主な動きをみると、製造業では、窯業・土石および金属製品が足もとの出荷の落ち込みから、はん用・生産用・業務用機械および電気機械が、海外経済減速の影響や半導体関連の在庫調整の長期化などから、それぞれ悪化した。一方、鉄鋼は輸出の為替円安効果から改善した。

◇ 非製造業では、建設が大口案件など受注の増加から、卸売が富裕層向け商品の伸長から、それぞれ改善した。一方、小売、対個人サービスでは、消費者の節約志向の影響などから悪化した。

- 先行き2024年9月までの予測では、製造業（今回0→先行き3）が改善する一方、非製造業（同18→同15）が悪化することから、全産業（同9→同9）では横ばいが見込まれている。

2. 需給・在庫・価格判断

- 国内での製商品・サービス需給判断（全産業）は、製造業が「供給超過」幅を拡大した一方、非製造業が「供給超過」幅を縮小したことから、全産業では「供給超過」幅を縮小（前回△18→今回△14）。先行きについては、「供給超過」で横ばいを予測（今回△14→先行き△14）。
- 海外での製商品需給判断（製造業）は、「供給超過」幅を拡大した（前回△11→今回△14）。先行きについては、「供給超過」幅の拡大を予測（今回△14→先行き△17）。
- 製商品在庫水準判断（全産業）は、「過大」超幅を拡大した（前回12→今回14）。
- 仕入価格判断（全産業）は、「上昇」超幅が拡大した（前回51→今回56）。販売価格判断（全産業）は、「上昇」超幅が拡大した（同32→同40）。先行きについては、仕入価格判断（全産業）は、「上昇」超で横ばいを予測（今回56→先行き56）。販売価格判断（全産業）は、「上昇」超幅の縮小を予測（同40→同33）。

3. 設備・雇用人員判断

- 生産・営業用設備判断（全産業）は、「過剰」超に転化（前回0→今回2）。先行きについては、「不足」超への転化を予測（今回2→先行き▲3）。
- 雇用人員判断（全産業）は、「不足」超幅が縮小した（前回△32→今回△25）。先行きについては、「不足」超幅の拡大を予測（今回△25→先行き△31）。

4. 企業金融関連判断

- 資金繰り判断（全産業）は、「楽である」超幅が縮小した（前回12→今回9）。金融機関の貸出態度判断（全産業）は、「緩い」超で横ばい（同15→同15）。この間、借入金利水準判断（全産業）は、「上昇」超幅を拡大した（同8→同24）。

Ⅱ. 事業計画

1. 売上高

- 2023年度の売上高は、製造業(前年度比+6.9%)、非製造業(同+0.3%)ともに増収となり、全産業(同+3.8%)でも3年連続の増収となった(前回調査から△0.4%の下方修正)。
- 2024年度の売上高は、製造業(前年度比+3.3%)、非製造業(同+2.1%)ともに増収計画となり、全産業(同+2.7%)でも4年連続の増収となる計画(前回調査から+1.0%の上方修正)。

2. 経常利益

- 2023年度の経常利益は、製造業(前年度比+15.8%)が増益の一方、非製造業(同△11.1%)が減益となり、全産業(同△4.6%)では3年連続の減益となった(前回調査から△12.4%の下方修正)。
- 2024年度の経常利益は、製造業(前年度比+54.1%)、非製造業(同+1.1%)ともに増益計画となり、全産業(同+16.7%)でも4年振りの増益となる計画(前回調査から+2.7%の上方修正)。

3. 設備投資額

- 2023年度の設備投資額(ソフトウェアを含むく除く土地投資額)は、製造業(前年度比△10.4%)、非製造業(同△22.4%)ともに減少となり、全産業(同△14.6%)でも2年振りの減少となった(前回調査から△4.7%の下方修正)。
- 2024年度の設備投資額(ソフトウェアを含むく除く土地投資額)は、製造業(前年度比+46.2%)、非製造業(同+24.5%)ともに増加計画となり、全産業(同+39.2%)でも2年振りの増加となる計画(前回調査から△1.6%の下方修正)。

4. 新卒採用(6月および12月調査)

- 新卒採用は、2024年度(前年度比+4.7%)、2025年度(同+6.6%)ともに前年度を上回る計画。

以 上

(参考)

茨城県と全国の業況判断D. I. (全規模)の推移

